

令和2年度あおもりノーリフティングケア推進事業 研修資料

ノーリフティング×職場大改革



社会福祉法人 高春福祉会
特別養護老人ホーム はるの若菜荘
施設長 大野 瑞穂



アンパンマン列車
土讃線を走る アンパンマン列車



地域の紹介



- 高知県高知市春野町東諸木 諸木地区の高齢化率：44.8%
- 2008年に高知市に編入合併



管理者の役割

統括者としてマネジメント

【管理・監督・指導・育成の5つ】

- 1.管理・・・「標準又は基準から外れないように統制すること」
- 2.監督・・・「あるべき方向に全体を差し向けること」
- 3.指導・・・「経営理念の浸透・目的・目標に共に進むこと」
- 4.育成・・・「一人でできるようになる」
- 5.経営・・・「健全経営」

管理者の役割

暮らし方と働き方を変えたい！！

○ノーリフティングケアの導入を決めた理由

- ・平成25年6月18日 腰痛予防対策指針の改訂
- ・平成25年10月 日本ノーリフト協会 保田氏の研修テーマ『看護&介護職の腰痛予防対策～腰痛予防対策とケアの質～』を機能訓練指導員(理学療法士)に受講させ、研修内にてスライディングシートを実際に使用、体験したことをきっかけに必要性を知る

平成25年10月 スマイルシート
(Lサイズ)
1枚購入したところから開始



2/3以上の職員が腰痛ベルトを巻き、力任せの介護時代

平成25年までは
腰痛ベルト巻き、2人で
「1.2.3～」と声を合わせ、
移乗していた。
腰痛になって、職員が
休む姿をみて・・・



推進チームを作る

* 衛生委員会と業務改善委員会のメンバーが合同
トップ管理者＝施設長

統括マネージャー＝介護主任・機能訓練指導員(理学療法士)

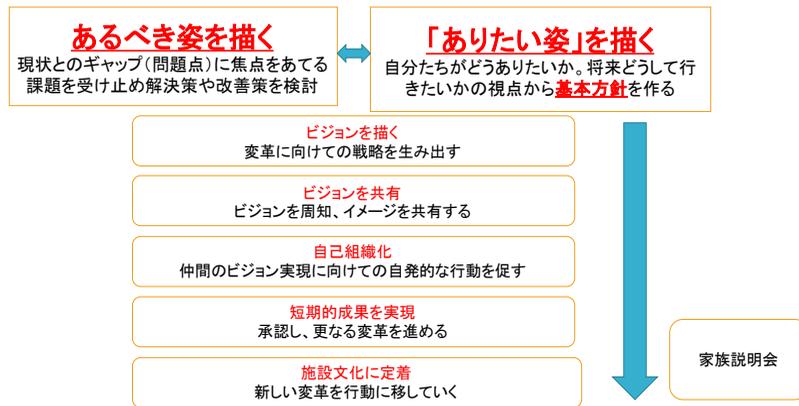
推進リーダー＝生活相談員・各フロアリーダー・介護職員

健康管理＝看護職員

環境整備担当(福祉用具管理者)＝各フロアリーダー・機能訓練指導員

個別アセスメント担当＝ケアマネージャー・機能訓練指導員
・他各担当介護職員

『変革への意識』を高めていく



勤務体制

・リフトを導入するにあたり、慌てずに業務が遂行できるよう、職員配置を見直した

①介護助手の導入

②中途採用、新人職員に指導の意味を含め、2人1組の体制を導入後3か月の期間を目途にとる

③各フロアに福祉用具を構え、ミニリフトを含めて所定の位置で管理する (動線の短縮)

介護助手

業務内容: 食事の準備、配膳、修繕、食事介助、おやつ介助、水分介助
利用者と一緒に洗濯たたみ、掃除

介護助手: パート職員3名 (8:30~13:30)



出来る事から始める

- ・物品購入前に、管理方法、デモ機の使用など、誰にどのように使用するのか
- ・マニュアル作り、内部・外部研修計画の作成、実行
- ・労働安全として、危険個所のチェック等を行う
- ・中腰姿勢、不良姿勢をしない環境づくり
- ・動線・時間の短縮→生産性の向上を考える



福祉用具

物を大切にする

- ・床走行式電動介護リフト …3台
- ・スリングシート …16枚
- ・スタンディングマシン …3台
- ・スタンディングマシン用スリング …7枚
- ・天井走行式リフト …1台
- ・スライディングシート …9枚
- ・介護用グローブ（6年間）・・・100枚購入
*入職時、職員に配布している
- ・フレックスボード …3枚
- ・電動介護ベッド



福祉用具

「5年かけて、福祉用具を揃える」と発信する。

- ・計画を現場で考えさす。



- ・福祉用具購入の優先順位をつける
(事業計画・予算)

考える力

- ・補助金申請も、現場で出来るように指導する



置き場所を決めて購入する

はるの若菜荘にある主な福祉用具

電動ベッド(3モーター) 30台

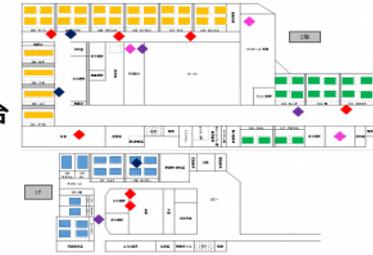
◆ スライディングシート 8枚

◆ 床走行式電動介護リフト 3台

◆ スライディングボード 3枚

◆ スタンディングマシン 3台

天井走行式介護リフト 1台(2階浴室)



助成金を活用して購入した物品（労働局）

平成27年 天井走行式介護リフト 1台
床走行式電動介護リフト 2台

平成28年 スタンディングマシン 3台
体重計 1台

購入金額 6,890,676円
内 補助金額 2,284,652円



補助金を活用して購入した物品（高知県）

平成26年 電動介護ベッド 4台
 平成27年 電動介護ベッド 3台
 車椅子 1台 2台
 平成28年 電動介護ベッド 2台
 車椅子 3台
 平成29年 電動介護ベッド 4台
 平成30年 電動介護ベッド 3台
 令和元年 電動介護ベッド 3台



購入金額 6,251,800円
 内 補助金額 2,344,000円

補助金を活用して購入した物品（高知市）

平成29年見守り支援ベッドシステム（電動ベッド） 2台
 平成30年 車いす 9台



購入金額 2,255,800円
 内 補助金額 927,000円

施設内研修の様子



研修後は、確認テスト(理解度チェック)もある



確認テスト(理解度が低い職員は再度講習)



体の変化

(入所前)入院中



入所して1ヶ月



入所して2か月



体の変化と心の変化

入所して6ヵ月で



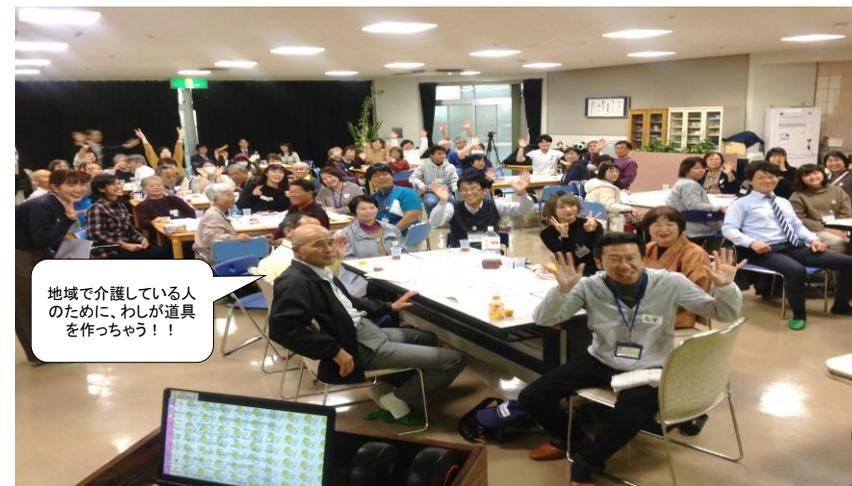
車いすに座って、
笑顔で会話をして、
行動範囲が広がる

良かった点

- ・これまで2名の職員で行っていた介助を1名で行うことができ、効率的である
- ・2次障害(表皮剥離・褥瘡・骨折)や転倒が減少することにより、怪我による病院受診の機会が減少した
- ・利用者様とのコミュニケーションの時間が増えた
- ・介助者側の身体的にも余裕ができた



スズメ元気会（地域住民と一緒に、'これから'考える）



外国人実習生受け入れ



ご清聴ありがとうございました